

令和 8 年度 第 1 回 学校運営協議会（議事録）

○日時 令和 8 年 6 月 29 日（月）15 時 40 分より

○場所 湘南台高等学校 会議室

○出席委員 7 名

○欠席委員 2 名

- 1 学校長あいさつ
- 2 委嘱状交付
- 3 委員及び事務局職員紹介
- 4 会長及び副会長の選出
- 5 報告事項

（1）令和 8 年度学校経営方針について

- ・神奈川県立湘南台高等学校グランドデザイン（令和 6 年 4 月 2 日改訂）

- ・スクールポリシー（令和 4 年 2 月 28 日策定）

- ・学校教育計画（令和 6 年度～令和 9 年度）（令和 6 年 4 月 2 日策定）

（質疑応答）

委員

- ・インターンシップはどのようなところに行くのか。

総括教諭

- ・今年はインターンシップ幹事校になっており会社や病院、ボランティア法人など幅広い分野をそろえており、約 30 名が参加する。

副校長

- ・湘南鎌倉地区という括りでインターンを進めており、中には保育園のインターンに行く生徒もいる。

委員

- ・高校で実践されているインクルーシブ教育の内容を教えてほしい。

総括教諭

- ・一般募集と特別募集という異なる受験枠を設けているが、同じ教室で一緒に学ぶ。

委員

- ・インクルーシブ教育についてどのような取り組みや研究をしているか。

総括教諭

- ・配付物はユニバーサルデザインのフォントの使用、また黒板のチョークは見やすい白と黄色を中心に使用している。

総括教諭

- ・授業では目標と流れを提示して視覚的に見通しを持つという仕組みをとっている。

委員

- ・高校は教育計画を4年という長い期間で立てるものなのか。

校長

- ・4年で一括りの大きな目標がある。
- ・1年毎に目標や具体的な取り組み、評価の観点を設定する。

(2) 令和7年度卒業生（第39期）進路状況について

- ・公務員に関しては国税庁に合格している人がいる

(3) 令和8年度入学者選抜結果について

教頭より

- ・定員238名のところ262名が受検。特別募集定員21名のところ20名受検
- ・令和8年度募集より選考基準の比率が 学力6：調査書4とした。

(4) 令和7年度部活動活動実績について

- ・担当グループの総括教諭より部活動実績について簡潔に内容説明があった。

(質疑応答)

委員

- ・昨今バスの事故がニュースになっているが、遠征の移動手段について聞きたい。

総括教諭

- ・基本的には交通費関を使用する
- ・ボランティアで保護者や卒業生が協力して荷物を運ぶ場合もある。

委員

- ・部活動加入率はどうか。

総括教諭

- ・3年生は7割を下回っているが1年生は8割を超えている。全体的には7割程度である。

(5) 令和7年度学校評価報告書（実施結果）について

各グループリーダーより

- ・令和7年度実施結果については学校要覧P7～P10を参照。各グループリーダーより簡潔に説明があった。

(質疑応答)

委員

- ・進路の記述の中に「藤沢市役所と連携し」とあるが具体的な取り組みについて教えてほしい。

総括教諭

- ・6月11日に藤沢市役所の方をお招きし、特別募集で入学した保護者対象の懇談会でお話しいただいた。

委員

- ・藤沢市の障害者雇用計画を含めて話すと今まで肢体不自由の方中心であったがそれ以外の精神障害など積極的に雇用していこうという形になっている。
- ・キャリアアップという形で通常の採用とは異なった形で採用している。その点藤沢市と積極的に動いていきたい。

委員

- ・生徒たちのICT端末とWi-Fiと繋がりが悪いため、先生方が積極的にICT活用していく中でWi-Fiを強化してほしい。

校長

- ・通信速度の改善を令和10年度に向けて進めているため、改善される予定である。

(6) 令和8年度学校評価報告書(目標設定)について

各グループリーダーより

- ・令和8年度目標設定については学校要覧P6を参照。各グループリーダーより簡潔に説明があった。

(質疑応答)

委員

- ・高校無償化に伴い、受験生が私立高校に流れる中できっと湘南台高校の生徒はこの学校がすごく好きであることが読み取れた。
- ・先生たちのサポートある中で広報委員会が主体的にホームページを作って発信したいという気持ちが感じられた。
- ・行ける学校から行きたい学校に行かせたいという気持ちも含めて先生方が一生懸命やっているという気持ちが受け取れた。

委員

- ・文系理系どちらの方が目指す生徒が多いのか。

総括教諭

- ・理系が弱く文系に進む生徒が多い。

委員

- ・全員同じカリキュラムなのか。

総括教諭

- ・2年生まではほぼ同じ授業を受けて三年生からは理科や社会など自分の進路に合わせて授業が細分化されていく。
- ・2年生のうちから自分の進路実現に向けて考え始め、3年生で良いスタートが切れるようにする。

委員

- ・理系に行く人は理系の勉強に特化できるのか

総括教諭

- ・カリキュラムの編成上理系文系クラスはなく、2年生まではほぼ同じ学習をする。2年生の3学期から受験に向けた学習の意識が始まる。

総括教諭

- ・現2年生以上と現1年生で3年間のカリキュラム構成は違うものの、選択授業において理系科目を選択することにより、理系の学習を進めることができる。本校の特徴として、理系よりも文系に進む生徒のほうが多い傾向にある。

委員

- ・湘南台駅改札前のアートスクエアでは様々なイベントをやっており以前は書道部にパフォーマンスをお願いすることもあったが生徒を募集して何かイベントできないか。

総括教諭

- ・以前書道部がパフォーマンスや展示をさせていただいた。
- ・高校生や一般の方々が集う有効なスペースだと思うので生徒に声をかけてみたいと思う。

委員

- ・ホームページについて県の方針があり載せる内容など制限があると思うが、タイムリーに更新というのは重要で特に保護者にとっては学校の特徴など情報収集するのにとても良いツールである。今の中学3年生は学校探しのためにかなりアクセスする機会が多いと思うのでより更新頻度を高めてほしい。

委員

- ・生徒たちにリソースルームがどのような場所か説明しているのか。

総括教諭

- ・各リソースルームに支援員が常駐しており特別募集の生徒中心に相談する場所である。

委員

- ・インクルーシブ教育実践推進校のためティーム・ティーチングと同様に支援員がいると思う。対して小学校では支援ルームという部屋があり近い話ではあるが人の配置がないため目が届きにくい部分があり難しい点がある。

6 その他

特になし

7 事務局より

副校長

- ・次回は11月を予定している
- ・本日の協議結果は学校ホームページで公開。

8 閉会

以上